

保証書

保証期間内に取扱説明書の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	オービタルサンダー SWS-200AC		お買い上げ日	保証期間
			年 月 日	1 年
お客様	住所	〒		
	ご芳名			
	電話	()		
販売店	住所			
	店名	☎ ()		

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ) 本書の提示がない場合。
(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存して下さい。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

発売元

 藤原産業株式会社

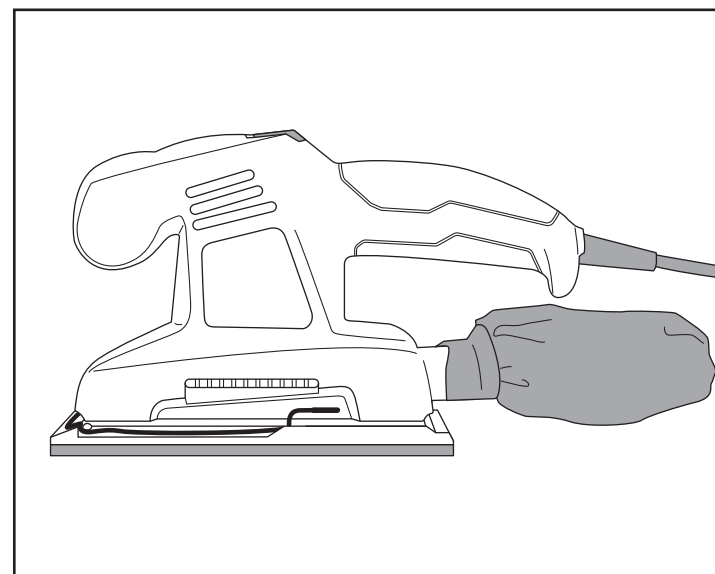
情報サービスセンター 〒673-0433兵庫県三木市福井2115-1 Tel.0794-86-8200(代) Fax.0794-83-5160

適用基準：J62841-2-4(2020)-A



オービタルサンダー SWS-200AC

取扱説明書



このたびは、SK11オービタルサンダーSWS-200ACをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく、安全にご使用ください。

また、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

※外観及び仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

目 次

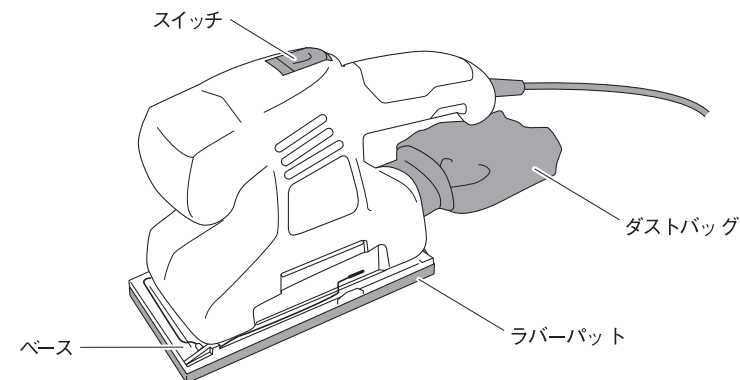
仕様・各部名称・用途	P2
仕様	P2
各部の名称および標準付属品	P2
用途	P2
安全上のご注意	P3～8
安全確保のために	P3
警告表示・注意表示について	P3
絵表示について	P3
電動工具を安全にご使用いただくために	P4
オービタルサンダーを安全にご使用いただくために	P8
工具に表示している記号の意味について	P8
使い方	P9～12
研磨方法	P12
困ったときは	P13

1. 仕様・各部名称・用途

仕 様

型式	SWS-200AC
使用電源	単相交流100V
定格周波数	50/60Hz
消費電力	200W
無負荷回転数	12000min ⁻¹
振動数	20000min ⁻¹
パッド寸法	90×185mm
パッド振幅	2mm
本体質量	約1.2kg(ダストバッグを含み、電源コード、サンディングペーパーを除く)
コード長さ	約2.0m
絶縁方式	二重絶縁

各部の名称および標準付属品



標準付属品	● ダストバッグ ● パンチングツール ● サンディングペーパー(マジック式) #60、#120、#240……各2枚
-------	--

用 途

- 木材等の表面仕上げ
- 塗装面の研磨

2. 安全上のご注意

安全確保のために

⚠ 警告

- 安全に正しくご使用いただくために、すべての取扱説明書の安全上の警告・指示・図解及び仕様をよくお読みいただき、安全にお使いください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」のすべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- 「安全上のご注意」を守らない場合には、火災・感電・重傷を負うおそれがあります。
- お読みになった後は、必要に応じてお使いの方がいつでも見ることができるよう、すべての警告及び指示を後日のために保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示・注意表示について

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる被害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告 この表示の欄は、「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 この表示の欄は、「使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容です。「⚠ 注意」に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 この表示の欄は、製品の据付、操作、メンテナンスに関する重要な注意事項です。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

絵表示について

- お守りいただく内容の種類を、以下の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせで表示しています。

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせで表示しています。

 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせで表示しています。



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



電源プラグを抜く



よく読む



点検・確認



保護メガネ着用



防じんマスク着用



防音保護着用



感電注意



高温注意



指に注意



回転部注意



火災注意

電動工具を安全にご使用いただくために

⚠ 警告

■作業場について



- 作業場はいつもきれいに明るく保ってください。
- ちらかった場所や作業台は事故の原因となります。
- 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所や作業台は事故の原因となります。



禁止

- 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 爆発を誘引することがある可燃性の液体、ガスや粉じんのある所では使用しないでください。電動工具はこれらを発火させることがある火花を発生します。
- 電動工具使用中は、作業者以外、特に子供を近づけないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。また、作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。



火災注意



- 騒音防止規制について
- 騒音に関しましては、法令や各都道府県などの条例で定められた規制があります。ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

■電気に関する安全事項



禁止

- 電源は正しく接続してください。感電の危険が低減されます。
- 電源コンセントは電源プラグに合致するものを使用してください。
- 電源プラグは改造しないでください。
- アダプタプラグを併用する場合は、正しく接地（アース）してください。



感電注意



水ぬれ禁止

- 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。



禁止

- コードを乱暴に扱わないでください。感電の危険が増大します。
- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがったところや動くものに近づけないでください。
- 重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。



- 屋外使用に合った延長コードを使用してください。感電の危険が低減されます。
- 屋外で延長コードを使用する場合、キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。



感電注意

- 電動工具を湿った場所で用いることが避けられない時は、漏電遮断器（RCD）によって保護された電源を使用してください。
- これにより、感電のリスクは低減されます。



感電注意

- アース機構（アースクリップ、アース端子ねじ等）を有する電動工具は、必ず接地（アース）してください。
- 接地をしない故障や漏電の時、感電する原因になります。
- 接地は、プラグの横から出ているアースクリップや本体のアース端子ねじにアース線を接続してください。
- テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アース端子ねじと工具本体の金属外郭部間の導通を確認してください。
- アース棒やアース板を地中に埋め込みアース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事に相談してください。
- 接地と共に感電防止用漏電遮断器の設置された電源に、接続されますことをお勧めします。
- 漏電遮断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。
労働安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備に関する技術基準を定める省令（H9）の第10条及び第11条
- アース線をガス管に接続しないでください。
- 爆発のおそれがあります。
- アース機構を有する電動工具に延長コードを使用する時は、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
- アース線のない2芯コードの使用は、感電の原因になります。



- 二重絶縁構造
- このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですので接地（アース）する必要はありません。

■人的安全性

		油断しないで十分注意して作業を行ってください。一瞬の不注意で深刻な人的障害をもたらすことがあります。 ●電動工具を使用する場合は、自分が何をしているか、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況などを十分注意して、常識をはたらかせて慎重に作業してください。 ●疲れていたり、アルコールや薬を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
		安全保護具を使用してください。 ●作業時は保護メガネを着用してください。 ●粉じんの多い作業では防じんマスクを着用してください。 ●騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。 ●屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。 ●また、必要に応じて、滑り防止安全靴、ヘルメットなど必要な安全保護具を使用してください。
		   保護メガネ着用 防じんマスク着用 防音保護着用
		不用意な始動は避けてください。 ●電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。 ●電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。 ●スイッチがオンになった電動工具のプラグを差し込むと、不意に回りだすので危険です。
		調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。人的傷害をもたらすおそれがあります。 ●電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外しであることを確認してください。
		材料を加工する工具では、加工する材料をしっかり固定してください。 ●加工する材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(加工する材料を動かす製品は除く)
		無理な姿勢で作業をしないでください。 ●常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。 ●これによって、予期しない状況でも電動工具を適切に操作することができます。
		きちんとした服装で作業してください。 ●だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。 ●長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。 ●髪、服及び手袋などを回転部に近づけないでください。
		 回転部注意
		集じん装置が接続できるものは接続してください。粉じんを減少させることができます。 ●集じん装置が接続できる場合は、装置を確実に接続し、正しく使用してください。
		電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業をしてください。 ●不注意な行動は、重大な傷害を引き起こすおそれがあります。

■工具の使用と手入れ

		無理して使用しないでください。 ●用途に合った正しい電動工具を使用してください。異なる用途に無理に使用しないでください。 ●安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。 ●小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
		●スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。危険ですので、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。 ●スイッチで制御ができない電動工具を使用すると事故の原因となるおそれがあります。
		次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。誤って始動させるリスクを軽減することができます。 ●可動部分などの位置調整を行う場合。 ●刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。 ●使用しない、または修理する場合。 ●その他危険が予想される場合。
		使用しない場合は、きちんと保管してください。子供や不慣れな者が使用すると事故のおそれがあります。 ●乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または錠のかかる所に保管してください。
		損傷した部品がないか点検してください。整備不良は事故の原因になります。 ●使用前に、安全カバーやその他の部品に損傷が無いか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
		●可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。 ●破損した安全カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
		先端工具は、鋭利、かつ、清潔に保ってください。 ●先端工具を適切に手入れして鋭利に保つことで、作業の円滑さを失うことなく、操作も容易になります。
		電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件及び実施する作業を考慮して、取扱説明書に従って、特定の電動工具に合うように使用してください。 ●意図された作業と異なる作業に電動工具を用いると、危険な状況になるおそれがあります。
		ハンドル及び保持面に、オイル又はグリスを付着させず、きれいな状態で乾燥させておいてください。 ●ハンドル又は保持面が滑ると、電動工具の安全な取り扱い又は制御を妨げるおそれがあります。

■整備・修理



電動工具の修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。

●修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しただけでなく事故やケガの原因となります。修理は、お買い求めの販売店にお申し付けください。



●電源コードが破損した場合、交換には専門知識が必要です。販売店にお申し付けください。

●この製品は、該当する安全規格に適合しているので、改造しないでください。

●これによって、電動工具の安全性を維持することができます。

分解禁止

オービタルサンダーを安全にご使用いただくために

- 先に電動工具を安全にお使いいただくための重要事項について述べましたが、オービタルサンダーをご使用の際には、さらに次に述べる「警告・注意事項」を守ってください。



警告

■使用電源に関して



使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。

・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因となります。

■研磨作業に関して



使用中は、本機の底面や前部、回転部などに手や顔を近づけないでください。

・けがの原因となります。



使用中は、機体をしっかりと保持してください。

・しっかりと保持していないと、けがの原因となります。



禁止

水や研削液を併用しないでください。

・感電事故の原因となります。



禁止

材料を手を持った状態で作業しないでください。

・けがの原因となります。



本機が熱を持った場合は、無負荷運転を2分程度行った後、機体の温度が十分に下がるまで休ませてください。



禁止

回転させたままの状態、台や床の上に放置しないでください。

・けがの原因となります。

工具に表示している記号の意味について



記号の意味は「二重絶縁」です。



記号の意味は「取扱説明書をお読みください」です。

3. 使い方

サンディングペーパーの取り付け、取りはずし方（マジック式）



警告

サンディングペーパーを取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。
・プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。

取り付け方

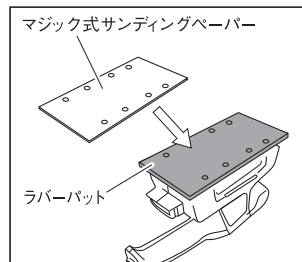
- (1) ラバーパットに付着したゴミを取り除きます。ラバーパットの取り付け面にゴミ等が付着していると、サンディングペーパーがしっかりと取り付けられないことがあります。
- (2) サンディングペーパーの穴の位置がラバーパットの吸塵用穴の位置と合うようにして、軽く押しつけて装着します。

93～95mm×185mmサイズのサンディングペーパーを使用してください。

穴なしサンディングペーパー（市販品）を取り付けた場合

穴なしサンディングペーパーを取り付けた場合は、パンチングツールを使用して吸塵穴をあけてください。
吸塵を行うことによって、作業効率の向上とサンディングペーパーの消耗を軽減することができます。

吸塵穴は、サンディングペーパーを取り付けたオービタルサンダー本体のコーナーとパンチングツールのコーナーを合わせ、パンチングツールにオービタルサンダー本体を強く押しつけてあけてください。（パンチングツールの突起部により、サンディングペーパーに穴があきます。）



サンディングペーパーの取り付け、取りはずし方（クランプ式）



警告

サンディングペーパーを取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。
・プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。

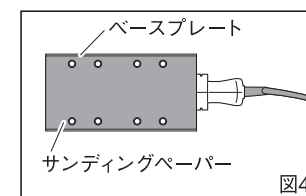
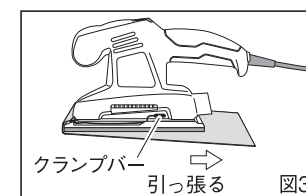
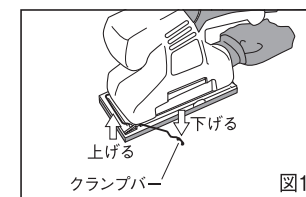
取り付け・取りはずし方

- (1) ベースプレート左右両端に固定してあるクランプバーを外して（ベースプレート側面に引っ掛けて止めてあります）、ペーパーがはさめるように上へ上げてください。（図1）
- (2) サンディングペーパーの先端部分をベースプレートとクランプバーの間にはさみ込んでクランプバーを元の固定位置へ戻して、固定してください。（図2）
- (3) 同じ方法で反対側も固定してください。サンディングプレートがたるまないように十分引っ張って固定してください。（図3）
- (4) 穴のあいたサンディングペーパーを使用される場合は、ベース面の穴とペーパーの穴の位置を合わせて固定してください。（図4）
- (5) ペーパーを取りはずす際も、上記のようにクランプバーを上へ上げてください。



注意

・サンディングペーパーは、使用、目的に合わせ粒度を選んでご使用ください。



取りはずし方

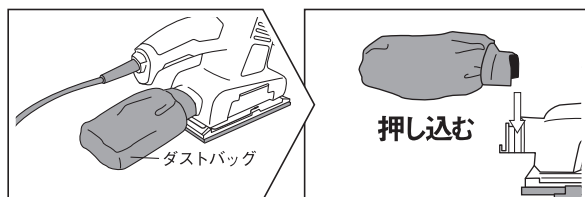
サンディングペーパーの端を持ち上げ、引きはがします。

⚠ 注意

・サンディングペーパーは、使用目的に合わせ粒度を選んでご使用ください。

ダストバッグの取り付け

ダストバッグの溝と本体の溝を合わせて、上からかぶせるようにしっかりと押し込んでください。



スイッチ操作

⚠ 警告

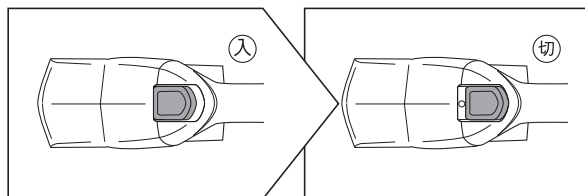
電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動き出し事故の原因になります。

スイッチの ON/OFF

スイッチ ON：スイッチを前方方向へスライドさせると作動します。

スイッチ OFF：スイッチを後方へスライドさせると停止します。



研磨方法

⚠ 注意

作業台や板の上に置いた状態でスイッチを入れないでください。

・けがの原因になります。

⚠ 注意

本機は加工面に対して軽く当てる程度で使用してください。本機は、サンディングペーパーを前後に振動させることにより、ペーパー上の研磨材が材料表面を削ることで作業効果を得るものです。強く当てますとサンディングペーパー振動数が低下し、ペーパーが材料を研削する回数が減少するため、かえって作業効率が低下します。また、作業疲労の増加、本機への負担増による故障などの原因となりますのでご注意ください。

⚠ 注意

ペーパーを必ず取り付けてご使用ください。ペーパーを取り付けずに使用しますと、パッド損傷の原因となります。

用途	サンディングペーパー粒度
粗削り	#60, #80
より細かな削り	#120, #180, #240
仕上げ	#320, #400, #600

4. 困ったときは

故障かな?と思ったら

- (1) 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- (2) 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症状	原因	対処
「スイッチ」をONにしても、作動しない	・電源プラグが電源コンセントから抜けている ・内部パーツの不良 ・電源ケーブルの断線	・電源プラグを電源コンセントに確実に差し込んでください ・修理を依頼してください ・修理を依頼してください
「スイッチ」をOFFにしても、作動したまま止まらない	・内部パーツの不良	・修理を依頼してください
研磨量が少ない	・サンディングペーパーが磨耗している、または目詰まりしている ・本機を材料に強く押さえすぎている	・ペーパーを交換してください ・回転数が落ちない程度に材料に当ててください
吸塵しない	・ダストバッグがいっぱいになっている ・サンディングペーパーとラバーパットの穴がずれている ・ペーパーの穴があいていない	・ダストバッグの中身を捨ててください ・正しく装着してください ・付属のパンチングツールでペーパーに穴をあけてください